

**世界で唯一「家」をテーマにしたダイアログ・イン・ザ・ダーク 体験者数15,000人超
人の温もりを感じる、好評の年末年始プログラムを開催
光のないクリスマス、暗闇で占う今年の運勢・・・全く新しい気づきを次の1年に**

積水ハウス株式会社は、情報発信拠点「SUMUFUMULAB（住ムフムラボ）」（グランフロント大阪）で定期開催しているダイアログ・イン・ザ・ダーク・ジャパン（本社：東京都中央区、代表：志村真介）との共創プログラム、ダイアログ・イン・ザ・ダーク（以下、DID）「対話のある家」第19回プログラムを、11月23日（木・祝）から開催します。

これまで開催したプログラムの中でも特に人気の高い年末年始プログラムは、クリスマスとお正月がテーマ。期間前半は、暗闇の中でやさしいクリスマスを楽しみ、誰かの幸せを願います。後半のお正月プログラムは、初となる点字のおみくじで1年の運勢を占うほか、実際に墨をすり、人の温もりを感じながら書き初めに挑戦。イルミネーションで彩られるクリスマスに真逆の暗闇を体験したり、暗闇でその日初めてあった人に今年の抱負を語ったりするなど、例年とは違う過ごし方を提供。1年のふりかえりやスタートに新たな気づきをもたらします。

実施に先立ち、10月19日（木）正午よりWEBでのチケット先行販売を開始します。

①クリスマス・プログラム（11月23日～12月25日）

『真っ暗の中のクリスマス』

豪華なイルミネーションも素敵ですが、たった一筋の光もない真っ暗の中を、人が作る温もりで照らそう。誰かの幸せを願い、自分の幸せも願ってみよう。クリスマスはやさしい。



②お正月・プログラム（1月6日～1月29日）

『年のはじめの大吉』

新しい自分を暗闇の中からスタート
今年の運勢を占うおみくじは、さて、何が出る？
新春は、たちこめる墨の香りの中で書き初め。
今年の幸せは、ここから始まります。



これまで世界41カ国以上で開催され、800万人以上が体験したDID

1988年にドイツで、哲学博士アンドレアス・ハイネッケが発案。参加者は完全に光を遮断した空間の中へグループを組んで入り、暗闇のエキスパートである視覚障がい者のアテンドのもと、中を探検し、さまざまなシーンを体験する「ソーシャルエンターテインメント」です。

人の声の温かさ、対話の可能性の発見、視覚以外の感覚が育む「心地よさ」など、DIDの魅力は体験した人にしかわからない体験価値にあり、「DID 対話のある家」来場者アンケートでは「また来たい」が86%、体験者数も15,000人を超える（2013年4月～2017年10月）など高い人気を得ています。

【本件についてのお問合せ】 積水ハウス株式会社 広報部
（大阪）TEL 06-6440-3021 （東京）TEL 03-5575-1740
（本社）大阪市北区大淀中1-1-88 梅田スカイビル タワーイースト

ダイアログ・イン・ザ・ダーク「対話のある家」第19回 «①真っ暗の中のクリスマス»«②年のはじめの大吉» 概要

- 開催場所：グランフロント大阪 北館ナレッジキャピタル4階（大阪市北区大深町3番1号）
積水ハウス「SUMUFUMULAB（住ムフムラボ）」
- 開催期間：① 2017年11月23日（木・祝）～12月25日（月）②2018年1月6日（土）～1月29日（月）
- 参加料金：大人3,500円／学生2,500円／小学生1,500円（税込）
- チケット発売：2017年10月19日（木）正午～
- 定休日：火曜日・水曜日
- 所要時間：70分
- 参加人数：各回6人まで
- 申込方法：予約状況確認・申込はWEBから <http://www.sumufumulab.jp/did/>
- 「対話のある家」お問い合わせ事務局：0120-29-2704（11：00～18：00 ※土日祝日除く）

D I Dと積水ハウスの共創プログラム「対話のある家」について

積水ハウスは「生涯住宅」の思想のもと、長年にわたり「スマートユニバーサルデザイン」などの研究活動を続けてまいりました。その一環として、「感じる力」「関係性の回復」「多様性を認める」を目的に、対話する場を提供し続けるDIDとの共創プログラム「DID 対話のある家」を実施。「純度100%の暗闇」の中で、住まいにおける様々な生活シーンを体験し、日常では得られない気づきやコミュニケーション向上の機会を提供します。

さらに、ブランドビジョン「SLOW & SMART」を実現する、住まいの快適性を深化させる研究にも活かしてまいります。



見て触れて楽しめる
「DID 対話のある家」の展示コーナー

<これまでの開催実績>

- 開催日数：2013年4月26日から開始、開催日数は計724日間（2017年10月9日現在）
- 参加者数：15,041人／性別：男性41%、女性59%
- 年代：10代以下8%、20代29%、30代27%、40代22%、50代11%、60代以上3%
- クリスマス、お正月など、季節ごとに毎回異なるプログラムを開催、体験するたびに新しい発見が得られるとの声も多数いただいております。

<昨年の年末年始プログラム体験者の声>

- 今まで知らなかった世界を体験できました。「闇の中で感じる光」を味わってみたくて…そこには視覚以外の感覚が豊かに広がる世界がある気がして、今日その一部を味わうことができました。楽しくあたたかく喜びいっぱいの空間。次は大切な人と一緒に参加したいと思います。（44歳 女性）
- あたりまえに過ごす時間や、身の回りにあるあたりまえのものたちへのありがたみや興味、大切さをすごく感じる事が出来る空間と時間でした。ここで、自分の心がふわあとなる感覚がすごく幸せです。メッセージカード大切にします。（30代 女性）
- 鮮やかな色がなくても豊かなクリスマスでした。（45歳 女性）
- 縁側に並んで座ってあったかい飲み物をすする。田舎のほのぼのとした家族に戻りました。初めて会った人たちと仲良くなる、すぐ家族になる、お互いに助け合う仲になるのがとっても楽しい。墨の香り、墨をする音が新鮮だった。（50代 女性）
- 暗闇の中で人の気配や声、物のにおい、味がきわだつ体験をまたしたいと思い、東京以来2回目の参加をしました。暗闇ってなんだかあったかいなあというのが今日一番感じたことです。暗闇の中で見えた今年の一文字を光として、今年一年頑張ろうと思います。（20代 女性）